

主題：神の建造する働き

メッセージ 2

神の中心思想、神の心の願い、神のエコノミーの目標、
宇宙の意義を認識し経験する

聖書：サムエル下 7:12-14 前半、マタイ 16:18、啓 3:18、詩 51:1-19、エペソ 3:16-19

- I. わたしたちは油塗る霊を目薬として買って、わたしたちの目を油塗らなければなりません。それは、わたしたちが神の中心思想、神の心の願い、神のエコノミーの目標、すなわち宇宙の意義、人の意義、人の心の中にある永遠に対する渴望と切望と願いの成就を見るためです——啓3:18、伝3:11、ハガイ2:7、参照、創3:9：
- A. わたしたちが目薬としてのその霊を買うのは、霊の中で貧しくなることによってです。すなわち、それは進んで無となること、何者にもならないことであり、自分が何も持っておらず、何も知らず、無であることを認識し、空の器となっていていつでもキリストで満たされる用意をして、召会を建造することです。これは真に自己を否むことであり、今日のキリストの最上の享受を得て、彼の千年期の支配において最高の享受を得ます——マタイ 5:3、16:18、24-26、25:21、23、19:24、ピリピ 2:5。
- B. わたしたちがその霊を買うのは、神の輝く言葉の実際としての真理を買うことによって、神の豊富としての火で精錬された金を買うことによって、光の武具としてのキリストを着せられるために白い衣を買うことによってです。キリストを着ることは、キリストによって生き、キリストを生かし出して、キリストを大きく表現することです——箴 23:23、啓 3:18、ルカ 12:21、ローマ 13:11-14、ガラテヤ 2:20、ピリピ 1:20-21。
- II. サムエル記下第7章12節から14節前半が啓示しているのは、神の中心思想、神の心の願い、神のエコノミーの目標、宇宙の意義が、神の建造であるということです。神の建造は、神聖で人に属するパースンです。神の建造は神・人です——創2:22、マタイ 16:18、ローマ1:3-4、I テモテ3:15-16、使徒9:4-5、15、ヨハネ14:23：
- A. 神の建造とは、神が人と成ったのは、人が神格においてではなく、命と性質において神となることです：
1. 彼の人性において、キリストは結合するはしごとなって、天（神）と地（人）を結合させて一とならせ、神の家であるベテルを建造します——創 28:12-17、ローマ 1:3-4。
 2. 神が人と成ったのは、肉体と成ること（天を地にもたらすこと）を通してであり、人が神となるのは、造り変え（地を天に結合させること）を通してです——ヨハネ 1:1、51、ローマ 1:3-4、5:10、8:28-29、II コリント 3:18。
- B. 四福音書における神の建造は、個人の神・人イエスであり、彼は神の幕屋また神の宮です——ヨハネ 1:14、2:19。
- C. 使徒行伝と各書簡における神の建造は、団体の神・人、新しい人、召会であり、それは肉体における神の団体の現れ、生ける神の家、三一の神の傑作です——使徒 9:4-5、I テモテ 3:15-16、エペソ 2:10、15、21-22、コロサイ 2:19、3:10-11。

- D. 啓示録における神の建造は、究極で終極の大いなる団体の神・人、新エルサレム、「花嫁・建造」、神と人の永遠の相互の住まいです。神は人の中へと建造されて神の幕屋となり、人は神の中へと建造されて神の宮となります——啓 21:2-3, 9-10, 22。
- E. 神はご自身を人の中へと建造し、人を神の中へと建造して、召会を神の家として建造してご自身の表現を得、また召会を神の王国として建造してご自身の統治権を得て、人に対する神の当初の意図を完成しつつあります——創 1:26. マタイ 16:18-19. ローマ 14:17. ヨハネ 14:23. ルカ 17:21. ダニエル 2:35, 44。

III. わたしたちは神の農場であり、キリストは命の種、ダビデの種であり、わたしたちの中へと植えられてわたしたちの中で成長します。それは、わたしたちが造り変えられ、「息子化されて」、神の建造のための尊い材料となるためです—— I コリント 3:9-12. サムエル下 7:12-14前半 :

- A. もし種が土壌に埋められて死ぬなら、やがて芽を出し、成長し、復活の中で開花します。復活の中で、キリストは「開花して」、命を与える霊と成り、ご自身を命の種として、ダビデの種として、わたしたちの存在の中へとまきました——ヨハネ 12:23-24. I コリント 15:31. 使徒 13:33. I ペテロ 3:18. マルコ 4:14, 26-27。
- B. 聖書によれば、成長は建造と等しいです。建造は、命の種としてのキリストがわたしたちの内側で成長することによって生じます—— I ヨハネ 3:9. コロサイ 2:19. エペソ 4:15-16。
- C. 神の御子の命は、わたしたちの霊の中へと植えられています。今や、わたしたちは地にまかれる種のように、死と復活の過程を、すなわち砕かれ建造される過程を経過しなければなりません——ローマ 8:10, 15-16. ガラテヤ 4:6. テトス 3:5. ヨハネ 12:24-26 :
1. ダビデが表徴しているのは、砕かれた命の結果がソロモン、すなわち建造の命であるということです :
- a. 今日、召会が建造されるために、わたしたちは神の心になつた生活を生きなければなりません。それは、進んで十字架の各学課を学ぶ生活、完全に暴露されへりくだらされた生活、神のあわれみと恵みを知り、自分の人の性質に何の信頼も何の誇りも持たない生活です——使徒 13:22。
- b. ダビデは極みまで失敗し、そして悔い改め、自分の罪を告白し、神はダビデを赦しました。それから、ダビデはソロモンを生みました。ですから、ソロモンは、人の違犯と悔い改めに神の赦しを加えた結果です——サムエル下 12:1-13, 24. 詩 51:1-19。
- c. もしわたしたちが悔い改め、自分の罪を告白し、神にきよめてくださるよう求める者であるなら (I ヨハネ 1:9)、わたしたちは神の家の中でキリストにある神の享受を持ち、シオンの建造、キリストの勝利を得た花嫁を得るでしょう——詩 51:18。
2. ダビデは、肉体と成ることから十字架までのキリストを予表します。ソロモンは、復活から御座に着くまでと再来におけるキリストを予表します。今日、キリストは命を与える霊として、わたしたちの霊の中に住んで、真のさらに大いなるソロモンとして、彼ご自身をわたしたちの中へと建造し、知恵の言葉をわたしたちに対して、またわたしたちを通して語って、神の真の宮としての召会を建造しつつ

あります——マタイ 12:42. 列王上 10:23-24. I コリント 12:8. 14:4 後半。

- IV. わたしたちの内側で命の種が成長するために、わたしたちは自分の人の霊、人の心、死ぬべき体を、新鮮に、新しく、日ごとに彼にささげる必要があります。それは、命の神聖な種が、わたしたちの内なる存在の人に属するすべての栄養の満ち満ちた供給によってわたしたちの中で成長して、キリストがわたしたちの死ぬべき体において大きく表現され、わたしたちが命によって飲み尽くされて、キリストのからだを建造することができるためです——マタイ 5:3, 8, 13:17-23. I テサロニケ 5:16-19. 箴 4:2 3. 20:9. 22:11. ピリピ 1:20. I コリント 6:20. II コリント 5:4. エペソ 4:16 :
- A. わたしたちは時間を費やして神を吸収する必要があります。それは、わたしたちが神の増し加わりによって成長して、神の家また神の王国としての召会を建造するためです——コロサイ 2:19. イザヤ 50:4-5. マルコ 1:35. 参照、ルカ 8:13。
- B. 主に仕える者は、彼らの奉仕が神を源としていなければならないことを見なければなりません :
1. 「神のために働くことを停止することのできない人はだれであれ、神のために働くことはできません」—— M. E. バーバー。
 2. ダビデは機会を得て、必要を見て、神の宮を建造する能力を持っていましたが、神の御言が彼に臨んだ時、彼は停止しました——サムエル下 7:18, 25, 27. 参照、ルカ 1:38。
 3. ダビデが停止したことは、宇宙に二重の証しを立てました。第一に、この宇宙におけるすべての働きは、人からではなく神から来たものでなければなりません。第二に、重要なのはただ、人が神のために行なうことではなく、神が人のために行なうことです——ローマ 11:36. 参照、民 18:1。
 4. 宮の建造者と宮の敷地はいずれも、ダビデの罪が赦されたことから、神がダビデのために行なったことから出て来ました——サムエル下 12:24-25. 24:1-10, 18-25. 歴代上 21:18. 歴代下 3:1. 詩 51:1-19。
 5. わたしたちは神に、わたしたちに語っていただき、命じていただく必要があります。また、わたしたちは彼と協力する必要があります。なぜなら、わたしたちは彼を畏れ、彼を愛するからです——出 21:1-6. 詩 86:11. I コリント 2:9。
- C. わたしたちはわたしたちの霊の中へと増強されなければなりません。それは、わたしたちがわたしたちの霊の中で、またわたしたちの霊をもって、そしてわたしたちの真実としてのキリストをもって、神を礼拝して、キリストがわたしたちの心の中にご自身のホームを造るためです——エペソ 3:16-19. ヨハネ 4:23-24。
- D. わたしたちの心は、聖別の中で責められるところのないものになる必要があります。わたしたちは主に求めて、わたしたちの心を神の愛の中へと、またキリストの忍耐の中へと導いてもらう必要があります。またわたしたちは心を対処して、わたしたちの心が良い地となって、キリストがその中で妨げなく成長することができるようにする必要があります——I テサロニケ 3:13. II テサロニケ 3:5. マタイ 13:8。
- E. わたしたちは心から他の人を赦す必要があります。それはわたしたちの赦す命としての、また裁定する平安としての内住するキリストによってです。わたしたちは彼にわたしたちの中で支配していただいて王国の実際を得ていただき、また彼にわたしたちの中で裁定していただいて一人の新しい人を得ていただく必要があります。

わたしたちは他の人を赦すことによって彼らを解放する必要があります。それは、わたしたちが解放されて神によって赦され、わたしたちの中の神の種が自由に成長するためです—— 6:15. 18:35. コロサイ 3:12-15. ルカ 6:37。

- F. わたしたちは財物の富をひそかにささげて、命の種をまき、拡大させて、物質の供給を神の召会に、神に属する必要のある聖徒たちに、神の全時間奉仕者に、貧しい人々に、神の愛の中で神の慈愛をもって、神の福音のためにささげる必要があります—— 38 節. I コリント 16:1-2. マタイ 6:1-4, 19-21. 19:21. 使徒 11:29. ローマ 15:26. ペリピ 4:16-17。
- G. わたしたちは命の種を神の言葉としてまく必要があります。それは、神の王国の福音を人の住む全地において、未信者（キリストに回心するため）と信者（キリストの中で成長するため）の両方に宣べ伝えることによってです。これは、命の種をまくこと、植えること、水を注ぐことです。それは、キリストの計り知れない豊富を福音として告げ知らせることによって、また神の家また神の王国としての召会を建造するために預言することによってです——マタイ 24:14. ローマ 1:1. エペソ 3:8. I コリント 3:6. 14:4 後半, 31。